

## 事例 62 自治体の補助を受け住民が運行するバス（長沢ミニバス：兵庫県淡路市）

- ・ 丘陵上に位置し、バス等の公共交通が運行されていない地区における、住民によるミニバスの運行。

### 背景

- ・ 淡路市長沢地区は丘陵上に位置し、近隣の商店まで 3km、町中心まで 10km の距離があるが、バス等の公共交通の運行が無く、中心部の商店や役所まで移動する際、自動車を運転できない住民は、同乗するかタクシーを利用。
- ・ 住民による自治会へのバス運行要望あり。

### 対応

- ・ 1995 年 6 月より、住民が中心となりバスを運行。路線、バス停位置、時刻表作成等の計画から運転者確保、負担金徴収まで全て住民が実施。
- ・ 住民はバス利用状況に関係無く世帯当たり 1 万円を負担（全体で 100 万円）。ボランティア運転手には 1 日 3,000 円の謝礼を支払い。
- ・ 町は、車両購入・維持費（燃料、保険等）のみ負担。

### 結果

- ・ 全住民のうち、月 1 回以上利用者は 31.2%。週 2 回以上利用者は 6.9%。
- ・ 利用目的には、「通院」「買物」の他に「目的を持たずに利用」があり、気軽な外出を支援。
- ・ 自動車を運転できない住民の移動手段を確保。外出できるという安心感を与える。

### 課題

- ・ 事故発生時に、乗客は車両保険の範囲内でしか補償を受けることができない。
- ・ 世帯分担金を得て、自家用車で運送する場合も、道路運送法第 79 条の許可が必要。

（兵庫県淡路市企画部まちづくり政策課）

